

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	神林久雄
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3518
事務事業名	10660 屋代線跡地活用事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	06033500 橋や道路整備の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費										
	事業	040000 屋代線跡地活用事業										
事業目的						事業概要・効果						
須坂市長野電鉄屋代線跡地活用基本構想に基づき、長期的なまちづくりの推進や沿線地域の諸課題の解決を図り、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。						力ある地域づくりと交通体系の充実をはじめ、地域住民の日常生活に必要な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たす。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
地形測量(全線)・道路詳細設計(国道403号前後)	旧踏切道改築工事 7箇所 維持管理
平成26年度 実績	平成27年度 予定
維持管理	維持管理

指標名	旧屋代線跡地整備工事				
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績			70	
指標選定の理由	須坂市長野電鉄屋代線跡地活用基本構想に基づき須坂市長野電鉄屋代線跡地利活用庁内検討委員会議論経過により整備内容を策定				
最終年度目標の根拠	須坂市長野電鉄屋代線跡地利活用庁内検討委員会議論経過				
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		564	2,000
特定財源	国庫支出金	22,488	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	18,866	0
	その他	0	0
一般財源		△40,790	2,000
人員数(人)	正規職員	0.2	0.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,371.6	685.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,371.6	685.8
市民一人当たりの経費		0.0	0.1
総額		1,935.6	2,685.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	351	
15節 工事請負費	213	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	500	草刈り委託
15節 工事請負費	1,500	維持管理工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	低い
評価コメント	須坂市長野電鉄屋代線跡地利活用庁内検討委員会による十分な議論が必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	須坂市長野電鉄屋代線跡地利活用庁内検討委員会による十分な議論が必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	須坂市長野電鉄屋代線跡地利活用庁内検討委員会による十分な議論が必要。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

緊急性のある箇所の改良を実施。残りの跡地利活用について市民の皆様から様々な意見があり、跡地利活用について再度庁内検討委員会の議論が必要と考える。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）	次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
屋代線跡地の適切な維持管理を行う。跡地の利活用についで再度庁内検討委員会の十分な議論が必要。		旧屋代線の跡地利用については、一部計画されている箇所を除き活用方法の検討が必要である	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント